



○ 草の根パートナー型

平成14年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	スリランカ
2. 事業名	ワウニア地区基礎保健サービス復興支援事業
3. 事業の背景と必要性	スリランカ北東部は、シンハラ・タミル両陣営による約20年にわたる紛争の結果、100万人近い難民及び国内避難民を生み出してきた。しかし、2001年暮れに新政権が樹立したことにより平和を希求する動きが広がり、また、ノルウェーによる仲介も効を奏し、政府とLTTE（タミール・イーラム解放の虎）の間で2002年2月に停戦合意が締結された。 こうした流れの中で、国内外の避難民は自主帰還を進めており、彼等の定住促進と公共サービスの提供が急務となった。紛争により荒廃した北東部では、いまだ和平合意が行なわれていないため、政府による救済の手が届きにくく、NGOによる公共サービスの提供が強く期待されている。アムダは現地支部並びに現地保健行政機関と連携し、医療保健分野の復興に寄与するため人道支援を行なっていきたい。
4. 事業の目的	事業対象地区の保健局が目指す医療システムの回復に寄与し、事業地域の母子が健康を維持向上できるように支援する。
5. 対象地域	スリランカ国ワウニア県
6. 受益者層	最終受益者：母子約5千人、間接受益者：地域住民約14万人。
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● Poovarasankulam診療所兼助産院の産科病棟が建設され、適切な母子医療サービスを提供できる環境が整備される。 ● Poovarasankulam診療所兼助産院と周辺の地方病院に必要な医療機材が配置され、医療サービスが向上する。 ● 助産師、ヘルスポランティアへの研修、ならびに教育訓練・現場でのモニタリングを通じて、彼らの知識・技術が向上する。 ● 診療所兼助産院・助産師・ヘルスポランティア間の連携が強化され、リファラルシステムが適切に機能するようになる。
8. 実施期間	2004年5月～2006年4月（2年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：28,284千円（精算金額：20,764千円） 第二年度契約金額：27,979千円
10. 事業の実施体制	アムダが現地当局と密接な関係を保ちながら、他NGOと協力しながら事業を実施する。日本からも評価活動を行ない、効果的な事業運営を促進する。
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 アムダ
2. 活動内容	医療保健分野を中心とした人道開発支援事業
3. 対象国との関係、協力実績	1999年スリランカ支部を設立。サルボダヤなど現地NGOとの協力関係も構築しつつある。